

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	体づくり運動が取り扱われていない点。 体育理論が5単位時間しか配当されていない点。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	36	
	2	三段跳び	順序は問わない。		各2×3
		砲丸投げ			
		やり投げ			
	3	(ア) 選択履修			各2×4
		(イ) 自由			
		(ウ) 体力			
		(エ) 中学校			
	4	(ア) 技能			各2×3
		(イ) 性別			
		(ウ) 多様な楽しみ方			
	5	(ア) 主体的			各2×5
		(イ) 勝敗			
		(ウ) 役割			
		(エ) 一人一人			
(オ) 課題					
2	1	スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すこと。 遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げること。 インターバルでは、3～5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ること。	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	22	
	2	はさみ跳び	4		

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点		
3		心身相関のしくみによって、体を動かすことで心が落ち着いたり、気分が晴れたりするから。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	8	
4	1	図1	かかえ込み跳び		各 4 × 2	18	
		図2	前方屈腕倒立回転跳び				
	2	課題	<ul style="list-style-type: none"> 手を着きに行くのが早いこと。 ひねり動作が早いこと。 脚部の振り上げが弱いこと。 	それぞれ1つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 課題と取り組ませる練習が対応しているものだけを正答とする。	10		
		練習	<ul style="list-style-type: none"> 手の着く位置と向きを決めて練習を行う。 マットの上で倒立後、1/4ひねる練習を行う。 両足踏み切りで台の上に側方倒立回転をする練習を行う。 				
5	1	表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにすること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	32	
	2	左右同側の手足を同時に前に振り出す動作。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4		
	3	図1	バルソビアナポジション				各 4 × 3
		図2	プロムナードポジション				
		図3	グローズド・ポジション				
	4	(1)	拍子の強弱を逆転させる。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		各 4 × 2
(2)		後拍を強調した弱起のリズム。					

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	(ア) 気勢		各3×4	
	(イ) 姿勢			
	(ウ) 打突部位			
	(エ) 残心			
	2	一足一刀の間合い		4
	3	図1 送り足		各3×2
図2 開き足				
4	相手と合わせて礼をし、竹刀を腰につけて(帯刀)3歩進み、構えながら蹲踞する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9	
5	面一面		4	
			35	

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
7	(1) ①・③・⑤	全部合っているものだけを正答とする。	9
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルドボールが宣せられたとき。 ・誰が最後に触れてボールがアウトオブバウンズになったか審判に確証がなかったとき、あるいは審判の意見が一致しなかったとき。 ・最後のフリースローが成功しなかったときに、両チームのプレイヤーがフリースローのバイオレーションをしたとき(ダブルフリースローバイオレーション)。 ・ライブのボールがリングとバックボードの間に挟まったり載ったりしたままになったとき。 ・どちらのチームもボールをコントロールしていないかボールを与えられる権利がない状態でボールがデッドになったとき。 ・両チームに対する等しい罰則を相殺したあとで、ファウルによる罰則が残らず、最初のファウルもしくはバイオレーションが発生する前にどちらのチームもボールをコントロールしていなかったかボールを与えられる権利がないとき。 ・第1クォーター以外の全てのクォーターやオーバータイムが始まる時。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っている相手をマークする動き。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守る動き。 ・ゴール前の空いている場所をカバーする動き。 ・相手や味方の位置を確認して、ポジションを修正して守ったりする動き。 ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動き。 ・味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるためのカバーの動き。 ・一定のエリアからシュートを打ちにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動き。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3
2	(1) 高く放物線を描くゆるい球	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	(2) ウ, エ, オ	全部合っているものだけを正答とする。	4

49